

# KANAGAWA ARTS PRESS

November, 2006

神奈川県総合文化芸術情報誌

神奈川県総合文化芸術情報誌

神奈川芸術PRESS73号(通巻77号)2006年11月15日発行(奇数月15日発行)

発行/神奈川県 編集/(財)神奈川芸術文化財団

●禁無断転載・複写●

Creator's Voice 92 大野慶人	02
芸術活動支援のページ	03&06
神奈川県内・公立施設催し物情報	04&05
特集 神奈川国際芸術フェスティバル	07



ソロダンサーというのは一人ですべてを背負わなければならない。  
ですから、あなた自身がとても大切だということをまず、わかって欲しい、  
そこから始めます。

舞踏家、演出家

# 大野慶人

様々な芸術文化を融合し、神奈川から創造・発信するArts Fusionシリーズ。  
5回目の開催となる今年は、世界のダンスシーンに大きな影響を与えた舞踏家大野一雄氏の  
生誕100歳を記念し、氏と交流のあった舞踏家を招聘してのガラ公演を開催する。  
その総合演出を務める大野一雄舞踏研究所長の大野慶人氏に、稽古場で話を聞いた。



## この稽古場はいつごろから使っているのですか

ここは45年前からずっと稽古場として使っています。周りにまだ何もなかったときから。大野一雄が先生をしていた横浜の捜真女学校の校舎が古くなって、建て替えるときにその木材をもらってきて作りました。梁や柱、窓枠もすべてそこからもらってきたものです。時間というのは大切です。長くそこにあるということが大切なのです。そういったものでつくられた場所の持つ力というのがありますね。

最近も県民ホールでイタリアの歌劇場のオペラがあったと思いますが、それに出演している歌手の方が大野一雄の本に感動したとってここを尋ねてこられました。いろいろ説明をしながら、稽古を見せてあげたら感動して泣いてしまった。その後、大野一雄の前でアリアを歌ってくれました。素晴らしいアリアでした。その日から1日置いて、またここに見えて、そのときは私にアリアについてどう思いますか、と聞くのです。私は美しい建物もそれを支えている土台がすごいでしょう、その美しい建物がアリアです、そのアリアに至るまでの、退屈にも思える伏線が大切なのだと言いました。アリアだけでは成り立ちません。大野一雄も最後の踊りはアリアですが、そこに至るまでに空気を作るところからはじめて踊りを作っていき、そんな話をしました。

世界中から、今でも大野一雄の著作や踊りに感動してここにはいろいろな人が訪れます。稽古もいろいろな国の方が参加されます。

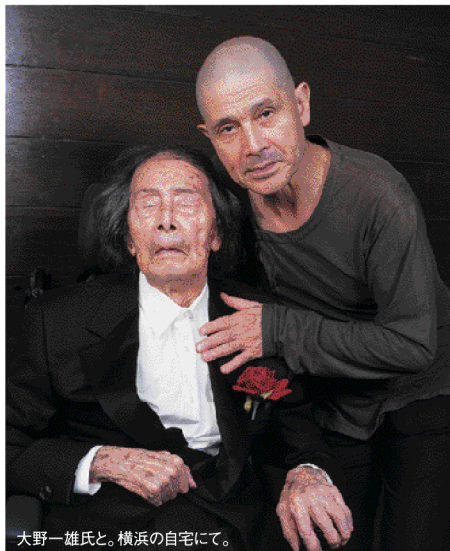
(※フレンチエ歌劇場 オペラ「トゥランドット」9月17日公演に出演(合唱団)していたコンスエロ・チェッラーイのこと。)

## 稽古ではどんなことをするのですか

昨日の稽古は、テーマが「木の成長」でした。木は目に見える早さで成長するわけではなく、それでもいつの間にか春が来て芽吹き、夏に葉が茂る、大きく育っている。それと同じで、踊りも、目に見える、人に見せる動きではだめだ、目には見えないまま、いつの間にか成長していた、という動きを研究してみよう、と。例えば、小学生が1年生から6年生になるまで、嬉しいことや悲しいこと悔しいことなどがたくさんある。それは今の6年生の姿に表れているわけではないけれど、それでもいろいろなことが面影のように身体には残っている、というようなことです。

この稽古場の基本であり信念は、まず初めに一人

ひとりが大切だ、ということです。大野一雄はソロダンサーです。ソロダンサーというのは一人ですべてを背負わなければならない。ですから、あなた自身がとても大切だということをまず、わかって欲しい、そこから始めます。たいいてい人は、何もっていないのではなく、むしろありすぎる。そこから無駄なものを消す作業をしていく。そうすると、誰でもない誰にも似ていない、あなた自身が浮かび上がります。



大野一雄氏と。横浜の自宅にて。

## 今回の公演でもソロを踊る方がほとんどです。どんな公演になるのでしょうか

一人ひとりを一品として、その人の一番の時間を10分間持ってきて欲しいとお願いしています。今の時代、個というものがなくなっています。そういう時代にこそ、一人ひとりの、かけがえのない大切な時間を見てもらうことが大切なのです。天児さんも普段は山海塾というグループで活動していますが、今回はソロとして踊ってもらいます。白塗りもしないと思います。

他の出演者では、カルラ・フラッチさんはミラノ・スカラ座のプリマだった人で、今は70歳を超えローマオペラ座の芸術監督をしていますが、その人に舞踏を押し付けるわけではありません。彼女をいかにプリマとして舞台上に復活させるか、イタリアでは「大切なダンサー」と呼ばれて宝にされている、そういうかけがえのない人の踊り、その真髄を見せてもらおうと思います。

実績を持った人たちの真髄がきちんと現れるよう、私は交通整理をしようと思っています。無名の人

有名な人も、それぞれソロで、ある時間を引き受けてもらうということです。未来を感じさせる公演にしなければなりません。基本的に、一人1公演に出演していただくよう交渉中です。1日だけだと、その日咲いた花になりますが、2日間やると作品になってしまいます。ですから2日間公演はありますが、同じ公演はありません。2日間、出演する方は違います。全部見たい人は2日間来てください(笑)。

## 最後に観客の皆さんへのメッセージをお願いします

10月に大野一雄が100歳を迎えます。今までお会いしたり、ジャンルを越えてお付き合いのあった方々と、ぜひ生きている間に会わせてあげたい。例えば、先日もジャズの演奏家の方と都内でお会いしましたが、以前この方は、大野一雄の公演があると、次々に知り合いに声をかけてくださって、チケットがどんどん売れていきました。今までそういう方々に支えていただいて「本当にありがとうございました」と本人から、ぜひお伝えしたいのです。

皆さんも公演をどうぞ楽しみにお待ちください。

(2006年9月 大野一雄舞踏研究所にて)

## Arts Fusion 2006 in KANAGAWA Part1

大野一雄100歳の年 ガラ公演「百花繚乱」  
平成19年1月27日19時開演、28日15時開演  
神奈川県立青少年センター ホール

総合演出：大野慶人

出演：(27日) 鷹赤兒、上杉満代、田中浪ほか

(28日) カルラ・フラッチ、天児牛大、高井富子ほか

料金：全席指定 一般 前売3,000円、当日3,500円

学生 前売2,500円、当日3,000円

主催：神奈川県、アーツ・フュージョン開催実行委員会、

大野一雄舞踏研究所、(財)自治総合センター

問合せ：神奈川県県民部文化課 045-210-3808

大野一雄舞踏研究所 045-381-2333

チケット：県民ホールチケットセンター 045-662-8866

## プロフィール

大野慶人 (おのおのよしと 舞踏家、演出家)

1938年東京生まれ。横浜在住。1959年大野一雄モダンダンス公演「老人と海」でデビュー。同年土方巽の「禁色」で少年役を演じた。以後、アルト・館、暗黒舞踏派公演に参加。1969年初のソロ公演を行うが、その後舞台活動を一時中断。1985年「死海」で大野一雄と競演してカムバックした。1986年以降は大野一雄の全作品を演出。1998年、歌舞伎研究家・郡司正勝氏の遺稿をもとにソロ作品「トリアン・グレイ最後の肖像」上演。

展覧会や演奏会、公演をする際には、実現までにさまざまな仕事がある。  
企画をし、その企画を実現するために、出演交渉や出品交渉をし、出演(出品)料を決める。  
入場料をきめてチケットを売り出す。それを告知するためのチラシや葉書をつくる。  
雑誌や新聞で取り上げてもらうために、マスコミに企画内容を告知する書類を送る(一般にプレスリリースという)。今回はこの広報について考えてみた。

**プレスリリースの作り方**

「チラシ」や「ポスター」はあらゆるところで目にするが、「プレスリリース」は限られた人にしか配布されないため、現物を見た事のない人も多いのではないだろうか。これは、一般に情報が公開される前に、記事として紹介してくれる可能性のある雑誌社や新聞社などに配布される“対外的に公表されることを前提とした”企画書のことだ(ちなみにプレスリリースを書くのは制作者もしくは広報)。“対外的に公表されることを前提とした”とわざわざ特記したのは理由がある。

**公演までに制作される主な広報宣伝紙媒体**  
企画書 → プレスリリース → (仮チラシ) → チラシ・ポスター → パンフレット

こうした企画書の類いにはいくつかの段階・ヴァリエーションがあり、例えば、公演を計画する初期の段階でファンドレイジング(資金を集める事)や関係者に説明するため“内部資料”として作成される企画書もある。ここでは、キャストイングなども予定段階のものが掲載されているし、資金提供先

にアピールするポイントが強調されるなど、一般の観客向けの情報とは少し異なっている。

それに対して「プレスリリース」は、メディアを通じて一般の観客に伝わるものなので、確定した公演データを中心に、

①メディアにパブリシティ(記事)として取り上げてもらえるような記者にアピールするような内容と、取り上げる時に記者が困らないような十分な資料

②チケットを買いたくなるような一般の観客にアピールする内容

がわかりやすく整理されたものとなっている。

体裁はさまざまだが、よく見かけるのはA4サイズ用の紙を用いて5~10頁程度で構成されたものだ。細かな留意点、例えば、表紙には問い合わせ先・担当者名(ふりがな付き)を明記し、タイトルにはキャッチコピー(その公演の一番のセールスポイントをコピーにしたもので、記事として取り上げる時に必ず付けて欲しい文句や公演を紹介する時の切り口)を付ける。内容紹介はそのまま抜粋して記事に引用されてもいいように簡潔なもの(100字程度)と詳細なもの(両方)を付ける。主役や演出家のコメントを入れるなど魅力的な記事がつけられるような情

報提供を心がけるetc.はいろいろあるが、きりがないので、はじめて作る時はいくつかサンプルを入手して自分なりに工夫してみるのが近道だろう。

**プレスリリースの構成内容**

- ①表紙(タイトル/キャッチコピー/問い合わせ先)
- ②開催データ(スタッフ・キャスト・日程・会場・公演クレジット・料金等の開催概要)
- ③略歴
- ④解説(企画趣旨/公演内容/ポイント)
- ⑤資料

いずれにしてもプレスリリースを作成する上では、制作者がその公演について深く理解しておく必要があるのはもちろんのこと、それ以上に、観客や創作のバックグラウンドとなっている社会の動向についてアンテナを張り、記事を掲載してくれるメディアおよび記者についても把握しておくなど、どれだけ客観的に公演を理解できているかがポイントとなる。なぜなら、制作者が“外の目”で公演を評価したものがプレスリリースに他ならないからである。

(坪池栄子)

**坪池栄子 プロフィール**

'55年生まれ。(株)文化科学研究所研究プロデューサー。「びあ」演劇記者を経て、'95年より(財)地域創造の発行する「地域創造レター」「雑誌地域創造」の編集プロデュース、'04年より独立行政法人国際交流基金の運営する「Performing Arts Network Japan (<http://www.performingarts.jp>)」の編集プロデュースを手がける

**column: 稽古場への施設転用2  
「老松会館」から「急な坂スタジオ」へ**

本誌5月号でお伝えした、横浜市中区の旧老松会館がステージアート専用の稽古場として再利用されるプロジェクト。いよいよ本格的に始動することになった。名称は「横浜アートプラットホーム:急な坂スタジオ」。

運営は、NPO法人アートネットワーク・ジャパンと、NPO法人STスポット横浜の共同事業体。これに横浜市開港150周年・創造都市事業本部が協働する形で動いていく。

同スタジオは、以下のごとき四つのキーワードを掲げてスタートにのぞんでいる。

**創造活動のためのスタジオ**

50㎡~240㎡の、大小五つのスタジオを整備。2ヶ月間までの長期利用を可能とし、舞台芸術を中心とした幅広い創造活動を応援する。

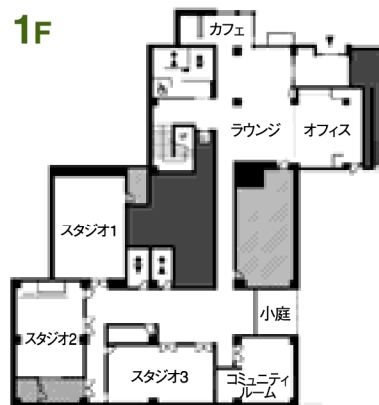
**レジデント・アーティストを迎える**

横浜を拠点に活動する3人のアーティスト、岡田

利規、中野成樹、矢内原美邦をレジデント・アーティストとして迎え、稽古場の優先使用に加え、三年から五年という長期的な視野での育成をはかる。

**コラボレーションのためのプラットホーム**

カフェやライブラリーなど、アーティストや市民が集い、交流するスペースを提供するとともに、各種イベントをプロデュース。ジャンルや世代を越えた、対話とコラボレーションの場を作る。



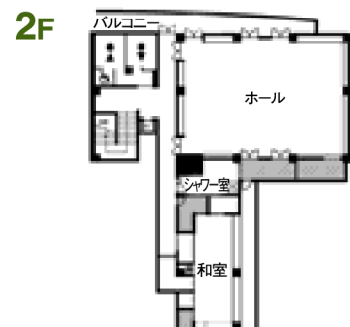
**桜木町・野毛創造界隈にぎわいを**

横浜市の創造都市構想に連動し、市民やアーティストとともに、地元の活性化を図る。

なお、スタジオ利用(公募制)、コミュニティ・ルーム利用(随時登録制・先着順)ともに、11月6日より利用受付を開始する。

料金体系など、詳しくは...

〒220-0032 横浜西区老松町26-1 旧老松会館  
TEL045-250-5388 FAX045-261-1300  
またはHP <http://kyunasaka.jp>。



▶特集は6ページにつづきます。

県内文化情報  
のページ

神奈川県内・公立施設催し物情報(各施設掲載の電話番号にお問い合わせ下さい)

※電話番号をお確かめの上、お間違えのないようお願いいたします。

横浜地区

■横浜美術館 045-221-0300

開催中～1月8日(月・祝) 10:00～18:00  
\*金曜日は20:00まで

「アイドル!」

一般1,000円、大・高校生600円、中学生300円

■横浜能楽堂 045-263-3055

12月2日(土) 14:00

横浜能楽堂開館10周年記念企画公演

「江戸大名と能・狂言」第5回「徳川光圀と能」

講談「藤井紋太夫の成敗 水戸黄門記」ほか

S席6,000円、A席5,000円、B席4,000円

■横浜みなとみらいホール(小) 045-682-2000

12月8日(金) 19:00～

Just Composed 2006 in Yokohama～

現代作曲家シリーズ～ 声帯が虹を描く

3,000円、友の会2,700円、学生・障害手帳を

お持ちの方2,000円

■大倉山記念館 045-544-1881

12月10日(日) 10:00～15:30

「小さな丘のクリスマス」

クリスマスリース作りや親子劇場、コンサート

お茶会

各催し物参加料100円(一部無料)

■栄区民文化センター リリス 045-896-2000

1月7日(日) 14:00

フランチリスト室内管弦楽団

～ニューイヤーコンサート～

全席指定

一般6,500円 リリス券6,000円(区民割引50席)

■横浜にぎわい座 045-231-2515

1月1日(月・祝)～15日(月)

(開演時間は興行による)

にぎわい座正月興行

日替わりで、落語、漫才などバラエティに富んだ

「笑い」をお届け

1,500円～3,500円\*興行による

■泉区民文化センター

「テアトルフォンテ」ホール 045-805-4000

1月13日(土) 14:30

初春芸能鑑賞会

「木美智子の物語と邦楽器を聴く會」

～藤原 山本周五郎「鼓くらべ」

全席指定 3,000円

■港南区民文化センター

「ひまわりの郷」ホール 045-848-0800

1月13日(土) 18:00

新ヴィヴァルディ合奏団

新春弦楽アンサンブルの夕べ

全席指定 一般3,000円

60歳以上・学生・障害のある方2,500円

■横浜赤レンガ倉庫1号館 045-211-1515

1月18・19日19:00、20・21日15:00

横浜ダンスコレクションR2007

ソロ×デュオ<Competition>+

一般3,000円(当日3,500円)

学生2,000円(当日2,500円)

4日通し券 8,000円全席自由ドリンク付

1月20日(土) 19:00(会場:ランドマークホール)

横浜ダンスコレクションR受賞者公演

一般3,500(当日4,000)円

学生2,500(当日3,000)円

川崎地区

■かわさきIBM市民文化ギャラリー

11月16日(木)～12月12日(火) 11:00～17:00

さまざまな眼 第153回 祐成政徳・吉川陽一郎2人展

1月18日(木)～2月13日(火) 11:00～19:00

さまざまな眼 第154回 黒川弘毅展

ともに無料 (財)川崎市文化財団044-222-8821

■川崎能楽堂 044-222-7995

12月2日(土) 第一部13:00 第二部15:00

第77回 川崎市定期能～宝生流～

全席指定4,000円

■新百合21ホール

12月16日(土)～18日(月)

16日19:00～、17日14:00～、19:00～、18日 14:00～

アートセンター開館イベント「学生演劇公演」

1,000円

川崎市市民局市民文化室 044-200-2280

横須賀三浦地区

■ヨコスカ・ベイサイド・ポケット 046-823-9999

<http://www.yokosuka-arts.or.jp>

12月3日(日) 15:00

フレッシュ・アーティストズfrom ヨコスカ シリーズ26

沼沢淑音ピアノリサイタル

全席指定 2,000円

12月15日(金) 16:00、16日(土) 14:00

有馬稲子と五つの楽器による

語り はなれ警女おりん

S 5,000円 A 4,000円 学生半額

■よこすか芸術劇場 046-823-9999

<http://www.yokosuka-arts.or.jp>

12月10日(日) 15:00

横須賀芸術劇場合唱団コンサートシリーズ28

「第九」演奏会

S 1,500円 A 1,000円

12月17日(日) 15:00

N.Y.ハーレム・シンガーズ

～クリスマス・ゴスペル・コンサート～

S 3,500円 A 2,500円 学生半額

1月3日(水) 15:00

ハンガリー国立ブダペスト・オペレッタ劇場

ニューイヤー2007 オペレッタ・ガラコンサート

S 7,000円 A 6,000円 B 5,000円

■鎌倉芸術館 0467-48-4500

大ホール

1月7日(日) 15:00

鎌倉芸術館ゾリステン・コンサート

vol.25～ニューイヤーコンサート～

全席指定 S 4,000円 A 3,000円 B 2,000円

1月13日(土) 15:00

天羽明恵ニューイヤー・ソプラノリサイタル

全席指定 S 3,500円 A 2,500円 B 1,500円

1月28日(日) 16:00

珍しいキノコ舞踊団「3mmくらいズレてる部屋」

全席指定 S 4,000円 Sペア7,200円 A 3,000円

■返子文化プラザホール 046-870-6622

なぎさホール

12月8日(金)、9日(土)、10日(日)

第2回返子湘南口ケーション映画祭

1日券1,500円 2日(9、10)通し券2,500円

(12月8日はビデオフェスティバルにつき無料)

12月13日(水) 18:30

なぎさプラスゾリステンコンサート第2回

全席指定

前売 4,000円 当日4,500円 学生2,500円

12月16日(土) 14:00

返子名人会第2回「落語三都巡り」

全席指定 前売3,500円 当日4,000円

■海南神社

1月15日(月) 10:00

チャッキラコ(国指定重要無形民俗文化財)

無料

三浦市教育委員会 社会教育課文化財保護係

046-882-1111(内線412)

■葉山町福祉文化会館ホール 046-876-1871

12月17日(日) 14:00

葉山の子どものためのおんがく会

「名作童話ミュージカルオズの魔法使い」

全席自由 大人 1,000円 中学生まで 500円

湘南地区

■平塚市民センターホール 0463-32-2237

12月10日(日) 14:00

第16回湘南ひらつか 第九のつどい

全席自由 1,000円

12月16日(土) 13:00

「アジアの名作を観る」文化財団シネマ劇場

「初恋のきた道」・「佐賀のがばいばあちゃん」

全席自由 大人 1,000円 高校生以下 500円

1月7日(日) 17:00

ハンガリー国立ブダペスト

オペレッタ劇場「ごもり」

全席指定 S 12,000円 A 10,000円

B 8,000円 C 5,000円

■湘南台文化センター(市民シアター) 0466-28-1135

12月2日(土) 15:00

鏡仙会 能「隅田川」狂言「箕被」解説付

シテ:観世鏡之丞 狂言:山本東次郎

全席指定 一般 3,500円 小中高生 1,500円

1月6日(土) 14:00

円・こどもステージ2007 「青い鳥ことり なぜなぜ

青いーチルチルとミチルの冒険ー」

全席指定 大人 2,500円 小人 1,500円

■藤沢市民会館大ホール 0466-28-1135

12月16日(土) 15:00

「明日への架け橋

オーケストラコンサートfor未来のおとなたちⅢ

～モーツァルトレクイエム～」

全席指定 1階席 3,500円 2階席 2,500円

小中高生(1/2階とも)1,500円

■茅ヶ崎市民文化会館 0467-85-1123

大ホール

12月8日(金) 18:30

ラテンダンス・カーニバル

全席指定 S 6,000円 A 5,000円

1月13日(土) 14:00

ニューイヤーコンサート2007 ヨハネス・ヴィルトナー

とウィーン・ヨハン・シュトラウス・アンサンブル

全席指定 A 5,500円 B 4,500円(学生 3,000円)

■秦野市文化会館 0463-81-1211

12月17日(日) 15:00

やまなみ63 小山実稚恵ピアノリサイタル

全席指定 3,000円

▶情報は5ページにつづきます。

神奈川県内・公立施設催し物情報(各施設掲載の電話番号にお問い合わせ下さい)

※電話番号をお確かめの上、お間違えないようお願いいたします。

12月23日(土) 17:30  
ホワイエクリスマスコンサート  
無料

1月21日(日) 17:30  
茂山家狂言公演  
全席指定 一般 3,000円 学生 1,500円

■伊勢原市民文化会館 0463-92-2300  
大ホール 12月9日(土) 15:00  
クリスマス3大アヴェ・マリア  
「美しい歌声とともに贈るクリスマス・キャロル」  
全席指定 3,000円

■二宮町生涯学習センター 0463-72-6911  
(ラディアン)ホール  
12月17日(日) 18:30  
熊本マリ ピアノリサイタル  
全席指定 3,000円

1月21日(日) 16:00  
いっこく堂とお笑いコンビMYMYによる「ミラクルボイスショー」  
全席指定 シングル 3,500円 ペア 6,000円

県央地区

■厚木市文化会館 046-224-9999  
大ホール  
1月6日(土) 17:00  
原信夫とシャープス&フラッツ  
見砂和照と東京キューバンボーイズ  
全席指定 S 4,500円 A 4,000円

1月7日(日) 15:00  
あつぎハーモニカコンサート2007  
指定席 2,500円 自由席 2,000円

小ホール  
12月23日(土・祝) 18:30  
JWS市民憩いの音楽会  
スペシャルコンサート「スイートクリスマス」  
全席自由 前売 2,500円 当日 3,000円

■大和市生涯学習センターホール  
12月10日(日) 13:30  
第23回大和市音楽フェスティバル〜吹奏楽の部〜  
無料 生涯学習センター 046-261-0491

1月27日(土)、28日(日) 13:00〜  
第2回大和軽音楽祭「Typhoon!」  
全席自由 1,000円(当日1,200円) 高校生以下  
500円(当日600円)  
(財)大和市スポーツ・よか・みどり財団  
よか課 046-260-5305

■海老名市文化会館 046-232-3231  
大ホール  
12月14日(木) 19:00  
聖夜のトランペット・レオニドコルキン  
全席指定 3,500円

12月17日(日) 15:00  
えびなベーターヴェンコンサート 第九2006  
全席指定 S 4,000円 A 3,000円  
青少年 1,000円 22歳以下当日売りのみ

1月12日(金) 18:30  
立川談志独演会  
全席指定 5,000円

県北地区

■グリーンホール相模大野  
チケットMove(ムーヴ) 042-742-9999  
大ホール  
12/16(土) 15:00  
モスクワ・アカデミー合唱団クリスマスコンサート  
全席指定 4,000円

12/17(日) 15:00  
N.Y.H.C 5th Anniversary GOSPEL NOW 2006  
全席指定 3,800円

多目的ホール  
12/14(木) 19:30  
珍しいキノコ舞踊団公演  
あなたが「ハレル」と言ったから  
全席自由一般 2,000円(当日2,500円)  
学生 1,500円(当日とも)

■社のホールはしもと ホール  
チケットMove(ムーヴ) 042-742-9999  
12/13(水) 19:30  
大萩康司クリスマスコンサート  
with special guest 小沼ようすけ  
全席指定 2,800円(当日3,300円)

■相模原市民会館  
チケットMove(ムーヴ) 042-742-9999  
1/27(土)14:00  
宝くじウィンター・コンサート  
三枝成彰・羽田健太郎のおしゃべり音楽館  
全席指定 2,500円

西湘・足柄地区

■南足柄市文化会館大ホール  
0465-73-5111  
12月21日(木) 18:30  
野村万作狂言会「蝸牛」「大地蔵」  
全席指定 S 4,000円 A 3,000円

1月24日(水) 18:00  
第40回あしがら文化広場「野口健 講演会」  
全席指定 1,000円

県立施設情報

■県立神奈川近代文学館 045-622-6666  
展示館2階ホール

「露伴、茂吉、寅彦と小林勇展」  
記念 岩波映画上映会  
11月30日(木) 14:00  
「蠅のいない町」「雪の結晶」「或る出版社五十年」  
12月1日(金) 14:00  
「生活と水」「教室の子供たち」「村の婦人学級」  
全席自由各日200円(要電話予約)

12月9日(土)、10日(日)各日とも14:00  
文芸映画を観る会「風船」原作・大佛次郎  
監督・川島雄三  
全席自由各日600円

12月24日(日) 14:00  
文芸朗読会 朗読＝篠田三郎(俳優)  
志賀直哉「網走まで」「或る朝」ほか  
全席自由1,000円

■県立青少年センター ホール  
1月7日(日) 14:00  
「新春お楽しみKOZA」金子みすゞの世界  
横浜開港余話と創作落語  
大人1,000円 こども500円  
県民ホールチケットセンター 045-662-8866  
音楽堂チケットセンター 045-263-2255

多目的プラザ  
12月2日(土) 14:00、18:00 3日(日) 14:00  
神奈川県演劇フェスティバル  
一劇団横浜にゆうくりあ  
「横センおやじの旗のもと」泉谷渉 作・演出  
前売1,200円 当日1,500円  
演劇フェスティバルチケットセンター080-5659-2757

神奈川ゆかりの映画鑑賞会—  
①「晩春」小津安二郎監督12月20日(水) 14:00  
②「豚と軍艦」今村昌平監督1月22日(月) 14:00  
無料(往復はがきに映画名、住所、氏名、電話  
番号を記入の上、申込み12月11日締切)  
県立青少年センター舞台芸術部企画課045-263-4475

■県立相模湖交流センター 042-682-6121  
12月23日(土・祝) 17:30  
やまなみクリスマスコンサート  
～さがみこからの贈り物～  
全席自由 一般(大人)1,000円 小人(高校生以下)500円

■県立藤野芸術の家 042-689-3030  
工房  
1月7日(日)～2月12日(月・祝)  
お楽しみコース「石のはんこ」づくり  
当日9:00～12:00、13:00～15:00までに受付  
500円

クリエイションホール  
1月27日(土) 15:30  
神奈川フィルハーモニー管弦楽団 公演  
全席自由 2,500円

※9月号に掲載した11/18開催県立相模湖交流センターでの出演者名、  
松本和将さんの氏名に誤りがありました。お詫言ひして訂正します。

column: 県民ホール 地域支援事業のご紹介

県民ホールでは神奈川県内の文化振興のため、  
様々な地域のホールや主催者と共同で地域に根  
ざした催しを行っています。

今年は大和市を舞台に「トリオ・リベルタ・コンサ  
ート〜クリスマスナイト」と称して、神奈川フィルハー  
モニー管弦楽団のコンサートマスターとして今をと  
きめく人気を誇る石田泰尚さんとピアノの中岡太  
志さん、サクソフォンの松原孝政さんの3人で結成  
した「トリオ・リベルタ」による公演を開催。昨夏、  
神奈川県民ホール前の噴水広場を埋めた熱いう

イブを覚えている方も多いはず。おなじみ「リベル  
タンゴ」ほかピアソラの名曲、映画音楽、クリスマ  
スナンバーと、熱く、時にはロマンチックに甘く、聖  
夜の喜びを歌います。お近くの方は是非「地元の  
ホール」にも足を運んでみてはいかがでしょうか?

▼トリオ・リベルタ・コンサート〜クリスマスナイト

12月22日(金) 18:30開演  
大和市保健福祉センターホール(小田急線鶴岡駅徒歩5分)  
料金:全席自由 前売2,300円 当日2,800円 前売ペアチケット4,000円  
主催・お問合せ:財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団046-260-5305 www.yamato-zaidan.or.jp



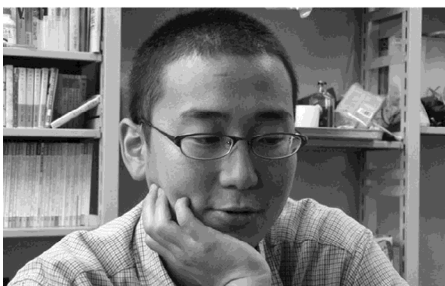
横浜国立大学に着任した劇作家・唐十郎のゼミから生まれた劇団「唐ゼミ」。  
学生の活動（ゼミ）としてスタートをきり、そこから一歩踏み出した活動をはじめている。  
主宰・演出兼制作担当の中野さんに、広報や交渉をどうしていったか、話しを聞いてみた。

——劇団「唐ゼミ★」は、横浜国立大学における唐十郎教授のゼミナールから生まれ出た、ユニークな出自をもちます。まずその経緯から聞かせてください。

**中野** 97年に専任教授として招かれた唐さんのゼミが始まったのは、2000年度からでした。はじめはゼミナールで何をやっていいのかわからない、手探りの時期が続いたそうですが、結局、実際に芝居を作ってみるところに落ち着き、研究室に狭い舞台を作り上げ、01年1月に唐さんの処女戯曲を上演したんです。その年の四月からゼミに加わった僕にとっては、ゼミナールの方向性がそっこのほうに定まったのはとてもラッキーでした。僕は最初から演出がやりたくて参加しましたからね。その後、年に二度ずつ公演を打ちながら、05年の唐さんの退任のとき、ゼミがなくなるわけで、劇団名をどうしようかとなった。ですが実はその時すでに、05年9月～10月の新国立劇場での公演（注1）が決まっていたこともあって、名前のおとに「★」マークをくっつけましたが、基本的に「唐ゼミ」のままやっていくことにしたんです。

——ゼミナールの延長を卒業して、独立した劇団になると、制作的にも、新しい仕事ができるのでは？

**中野** 六回目くらいから、少しずつ学外でも公演を打つようになって、いろいろなことを学んできましたね。チラシの折り込み（注2）を覚え、プレスリリース（注3）ってものを知り、顔なじみのお店にポスターを貼ってもらうことを勉強しました。独立して2回目の公演がこの9月～10月にあったんですけど、身に沁みたのは金銭的な苦しさですね。特に地方で公演するというのはこれだけたいへんなんだと。でも、その土地で呼んでくれる方、面倒みてやろうとってくれる方がいることの方が大事ですから、やってみようと思ってみて決めたんです。今回は少し蓄えもあったんですが、この問題をこ



れからどうするか。だからこれからが僕らの本当の始まりということなんだと思います。

——情報誌や新聞社に、挨拶にまわったりはしたんですか？

**中野** 向こうから来てもらっちゃったりしました（笑）。唐さんが大学で教えていることが記事になれば、その取材のときご挨拶したり、また唐組の芝居を見に行けば、終演後に唐さんを通して演劇担当の記者の方と顔をつないだり（注4）という具合でした。そのあたりは通常の劇団のスタートとは違う、恵まれたものだったという認識はあります。

——9、10月の公演は、横浜のほか、東京、新潟、京都にテントを持って初めて行かれましたよね。

テントを建てる場所を探すのもたいへんかと思うのですが。許可がなかなかおろるもんじゃないでしょ？

**中野** 唐ゼミのスタートと第一回の横浜トリエンナーレが同時期だったんです。国大の先生でトリエンナーレに出品された方を通して、横浜市の行政の人と知りあいになったんですね。ですから、市内でやるときはわりと優遇していただいている。東京の場所は、唐さんの知りあいの知りあいを訪ねて、そのまた知りあいの方をご紹介ねがってと、そういう流れでお借りすることができました。交通機関からのアクセスやテントを設営する安全性、そしてもちろん景観のよさ、これらの条件を同時に満たす場所を見つけることは、たいへんでもあり、テントの醍醐味でもあります。

——これからの課題は。

**中野** ふたつあります。まず集客の問題がひとつ。これまでの観客リストを眺めていると、やはり学生のお客さんが多い。ですから今回のような9、10月の公演では不利だということが今回ははっきりしました。テント芝居には少し向いていなくても、7月の始めや、11月の公演の方が宣伝も行き届くのだということがわかりました。チラシの作り方も、例えば次回から、演劇関係者だけでなく様々なジャンルの方に応援のメッセージを寄せて頂いたらいいんじゃないだろうか、などという意見が出ています。次に、これは集客にも関わりのあることですが、やはり金銭的な問題。最近の演劇界ではいわゆる助成金をもらって公演活動を行うことが主流になってきていますが、これはいまの唐ゼミ★の活動には向いていないんです。なぜなら助成金を申請する為には、公演本番からかなり手前の段階でその

予定を決めなくちゃならないでしょ。でも唐ゼミ★は、ひとつの公演の結果から次の公演の内容を決めるというスタイルをとっていますから、無理なんです。まだ駆け出しの僕らにはこのやり方一番健全だと思うので、助成金に頼ることなく、なんとか公演資金を捻出する方法を考えださなければなりません。

**注1:** 唐ゼミの学外公演は、このほか、横浜みなとみらい、沢渡公園、吉浜橋、新宿、など各地でおこなわれている。

**注2:** 劇場で渡されるチラシの束に、自分たちの公演チラシを挟み込むこと。大切なプレス作業（広報活動）だ。通常は公演初日の昼間、あるいは前日の昼間などに、チラシを持って先方の劇場に向き、手作業で一枚ずつ挟み込んでゆく。チラシを何枚用意していけばいいか、何時にどこに集めればいいのかは、早いうちに相手の劇団に確認を取っておこう。もちろん、挟み込みをさせてもらえるかどうかは、相手方の好意によるものなので、可能かどうかも含めて、丁寧に頼むようにするのが礼儀である。

**注3:** 3ページの記事、「プレスリリースの作り方」を参照のこと。また、プレスリリースは自分たちの公演や展覧会の記事を掲載してほしい雑誌やミニコミ誌の住所を調べ（奥付けにたいいてい記載がある）、可能なら電話をして担当者名を聞き、郵送または持参する。マスコミの人は総じて多忙なので持参する場合はアポイントをとることが望ましい。

**注4:** アートの実務には、劇場との契約や、出演者との交渉あるいは取り決め、稽古場の維持管理などなど、作業内容が比較的はっきり見定められるもののほかに、ビジネスライクだけでは片づけられない、「人との出会い」のようなヒューマンな営為が重要な要素としてある。演劇をはじめとした文化活動において、結局すべての作業の根っこは「人と人のかかわり合い」にあるのだ。誰かと知り合うこと、知り合った誰かときちんと会話をすること、このコミュニケーションなしには何事もあり得ないところえるべきだろう。そのためには、自分の身のまわりだけで通用する「閉じた言葉」だけでなく、生活も違えば風俗習慣、常識すら異なっているかもしれない「他人」と交流するための、「開かれた言葉」を身につけるよう日ごろから努力しなければならない。

#001 舞台・美術

The International  
**Arts Festival In  
Kanagawa****第13回神奈川国際芸術フェスティバル**

2006年12月9日(土)～2007年2月4日(日)

さまざまなジャンルの優れた芸術作品に触れる恒例のフェスティバル。今年も海外から独自招聘した2演目\*をはじめ、多彩に開催されます。

06年12月9日～10日 \*アンサンブル・ヴィエナ・コラージュ(音楽堂)

07年1月13日～14日 オペレッタ「こうもり」(県民大ホール)

06年12月14日～17日 親指こぞう - ブケッティーノ(県民ホールギャラリー)

07年1月17日～27日 神奈川県民ホールギャラリー所蔵 国際版画展(県民ホールギャラリー)

06年12月29日 オペレッタ・ガラコンサート(県民大ホール)

07年2月3日～4日 \*ナチョ・ドゥアト スペイン国立ダンスカンパニー(県民大ホール)

主催:財団法人神奈川芸術文化財団、神奈川県民ホール、神奈川県立音楽堂

後援:外務省 神奈川県教育委員会 横浜市市民活動推進局 (社)神奈川県商工会議所連合会 神奈川新聞社 横浜放送局 tvk

**親指こぞう - ブケッティーノ 平成18年度公共ホール演劇製作ネットワーク事業**

ともさと衣

**昨年2月に初演した人気作、待望の再演!**

ある日、貧しい生活に耐えかねた木こりの夫婦は、7人の子供たちを森のなかに置き去りにしましたが、ブケッティーノ(イタリア語で「小さ

な穴」の意)の機転で家に帰り着きました。しかし、二度目は大嵐の夜になってしまい、山の中で迷い込んだ屋敷は実は人喰い鬼の家・・・さあ、ちびっ子のブケッティーノ、今度はどうする!? ちょっとこわいけれど、ハッピーエンドを迎えるお話です。

劇場は小さな茶色の木の箱の空間。裸電球1つだけの簡素なお部屋に敷き詰められたベッドの中に、みんな横になって毛布にもぐりこみます。すると部屋の真ん中に居る一人のお姉さんがお話を始めます。

「ギーッ」木の扉が開く音だね、「カサカサ」誰かが落ち葉を踏みしめているんだ、嵐の中でや々とどり着いた屋敷に響く「ゴツン、ガタ、ゴツン、ガタ」この音はもしかして人喰い鬼の足音なのかな?

『親指こぞう』は生の音を含んだ300を超す

音響効果とお姉さんの声のみで出来上がっている、徹底して「聞く」ことにこだわったお芝居です。次第に五感が研ぎ澄まされて想像がふくらんでいき、物語を「体験」できるお芝居となっています。子供も大人も飽きることなく想像力の冒険をお楽しみいただけます。

お席に限りがありますので、ご予約はお早めに!

演出:キアラ・グイディ 出演:ともさと衣

日時:2006年12月14日(木) 15:00、

15日(金)～17日(日) 11:00、14:00

会場:神奈川県民ホールギャラリー

チケット料金:全席自由

一般2,800円 小学生1,200円

(対象年齢は小学生以上)

主催:神奈川芸術文化財団、神奈川県

お問い合わせ:県民ホールチケットセンター

045-662-8866

**神奈川県民ホールギャラリー所蔵 国際版画展**

神奈川県民ホールでは1975(昭和50)年開館と同時に、国際的に現代美術のネットワークを広げる手段として、「神奈川県版画アンデパンダン展」開催しました。自由出品、無審査というアンデパンダン形式で行われたこのユニークな展覧会は広く県民に親しまれました。

82年の第8回展からは海外からも作品が寄せられ84年の第10回展では名称も「神奈川県国際版画アンデパンダン展」と改称。名実ともに国際展としてスタートしました。海外からの出品作品では、民主化の機運が徐々に高まる東欧の作品が現地の世相と時代背景を色濃く反映したものと非常に注目されるとともに、版画のもつメッセージ性をも強く認識させることとなります。

90年からは地域を巻き込んだ大規模な「神奈川県版画フェスティバル」、98年、2001年の2回に渡り「神奈川県国際版画トリエンナーレ」を開催。01年は世界85の国と地域から5,000点の応募があり、文字通り世界の現代版画展となりました。

本展は神奈川県民ホールの歴史とともに展開された版画展に出品され、収蔵されている約80点の作品を一堂に展覧するものです。

様々な技法と時代を映し出した傑作の数々をどうぞお楽しみに。

会 期:2007年1月17日(水)～1月27日(土) [会期中無休]

開館時間:午前9時～午後6時 [入場は午後5時30分まで] 入場無料

会 場:神奈川県民ホールギャラリー 第2・第3・第4展示室

ベニーヤ・ベラルタ・フリオ・セサル Rumberos momento  
神奈川県国際版画トリエンナーレ2001大賞

## ストリートミュージシャンフェスティバル 横浜#6:ファイナル

応募総数139組の中から激戦を通過した10,20,30代各6組の中から世代別にグランプリを選出する最終ライブ決選。ゲストとしてピストルモンキー(ズ)が出演。

日時 12月3日(日) 15:00

会場 横浜BLITZ

入場料 2,500円(前売2,000円)

お問い合わせ

NPO法人ARCSHIP(アークシップ) TEL045-243-2247

または 県文化課 TEL045-210-3808

## 第6回かながわ戯曲賞 公開審査

最優秀賞・佳作を選定する審査を公開します。

日時 12月4日(月) 18:30

会場 横浜STスポット 入場無料

審査員長:宮沢章夫

(劇作家・演出家・作家/「遊園地再生事業団」主宰)

審査員:松本修(演出家/「MODE」主宰)

内野儀(演劇批評家)

問い合わせ:財団法人神奈川芸術文化財団

TEL045-633-3766

## 神奈川フィルハーモニー公演情報

### ■茅ヶ崎市民文化会館

12月10日(日) 15:00

ベートーヴェン「第九」

全席指定 S5,000円 A4,000円

B3,000円 学生 1,000円

### ■ミュゼ川崎シンフォニーホール

2007年1月7日(日) 18:00

神奈川フィル・ポップスオーケストラ

ミュージカル GREATEST HITS 2007

“SHOW TIME!!”

全席指定 S5,000円 A4,000円

B3,000円 学生・シニアB席半額

### ■横浜みなとみらいホール

2007年1月21日(日) 14:00

第232回定期演奏会「ブラームスの「祈り」」

全席指定 S6,000円 A4,500円

B3,000円 学生 1,000円

神奈川フィル・チケットサービス

TEL045-226-5107(平日10時~18時)

## かながわアートホール

### ■見学ギャラリー

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

リハーサル公開(予定) 無料

11月 22(水) 30(木)

12月 1(金) 2(土) 12(火) 13(水)  
21(木) 22(金)

1月 10(水)

※日時・内容が変更になる場合がありますので、詳細は神奈川フィルハーモニー管弦楽団事務局 045-331-4001までお問合せください。

### ■休館日

11/20(月)、11/27(月)

12/4(月)、12/11(月)、12/18(月)、12/25(月)、

12/28(木)~1/4(木)

1/9(火)、1/15(月)

横浜市保土ヶ谷区花見台4-2

<http://www.kanagawa-arts.or.jp>

## 開放感バツグンの “パノラマオーランドア”

ISIS  
アイシス



車両本体税込価格 178.5万円~ 273万円

## 神奈川トヨタ

本社 横浜市神奈川区栄町7-1 フリーダイヤル0120-212119 (お客様相談室)

<http://www.kanagawatoyota.com>

## 神奈川県

県民部文化課 文化企画班

電話(045)210-3804(直通) FAX(045)210-8840

横浜市中区日本大通1-231-8588

電話(045)210-1111(代) 内線3804~3807

## ひっこし主日通

は~こんじゃおつたら♪ は~こんじゃおつ、オー!

0120-855507

<http://www.nittsu.co.jp/>

## 「かながわアーツ倶楽部」

神奈川芸術文化財団

県民ホール・音楽堂友の会

### ご案内

チケットの先行予約・割引など、便利なサービスや特典がいっぱいのかながわアーツ倶楽部では、ただいま個人・法人の会員を募集中です。かながわアーツ倶楽部の資料(兼入会申込書)は下記にご請求下さい。

神奈川芸術文化財団 友の会事務局  
TEL045-633-3763 FAX045-662-8111

(神奈川県民ホール内)

なお神奈川芸術文化財団ホームページでもかながわアーツ倶楽部の内容をご紹介します。

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/>

神奈川県小田原市風祭二四五  
電話0465-2431-41(代)



[www.kamaboko.com](http://www.kamaboko.com)

かまぼこは  
海からの贈りもの  
鈴廣かまぼこは  
天然素材

安心を贈る。



## 「ナイスの森」を育てています

「木」をルーツとするナイス株式会社は、10周年の記念事業として、山林を取得し、和歌山県新宮市、神奈川県厚木市、静岡県川根町の3つの「ナイスの森」を保護育成しております。

木と住まいの最適住生活応援企業

# NICE

## ナイス株式会社

〒230-8571 横浜市鶴見区鶴見中央 4-33-1  
TEL 045 (521) 6161 (代)  
URL <http://www.nice.co.jp>